



肺がん

連携パス手帳

(ユーエフティ内服による術後補助化学療法)



大阪医科薬科大学病院

大阪府がん診療連携協議会

もくじ

はじめに	p3
退院後の日常生活	p4
術後補助化学療法について	p5
抗がん剤による副作用	p5～p6
補助化学療法の薬剤について	p7
あなたに服用いただくお薬について	p8～p9
退院後もこれだけは忘れずに！	p10
あなたが受けた手術について	p11
肺がん術後連携パス	p12～p27
再診予約変更 大医薬大の部署のご案内	p28～p29



はじめに

【連携パス】とは、地域のかかりつけ医と大阪医科薬科大学病院の医師が、あなたの治療経過を共有できる「治療計画表」のことです。「連携パス」を活用し、かかりつけ医と大阪医科薬科大学病院の医師が協力して、あなたの治療を行います。

この「連携パス」を活用することで、大阪医科薬科大学病院と地域のかかりつけ医とが協力し、患者さんの視点に立った安心で質の高い医療を提供する体制を構築することを目指しています。また、患者さんにとっても長い待ち時間や通院時間の短縮などの負担軽減や、ご自身の治療計画や経過の把握、かかりつけ医の手厚い診療による不安の解消といったメリットにもつながります。

【かかりつけ医があなたのもうひとりの主治医です】

病状が落ち着いているときの投薬や**日常の診療はかかりつけ医が行い、専門的な治療や定期的な検査は大阪医科薬科大学病院が行います**ので、ちょっとしたケガや日常の相談は、まずかかりつけ医にご相談ください。必要に応じて大阪医科薬科大学病院を受診していただきます。また、緊急を要する場合は休日や夜間等かかりつけ医を受診できない場合は、大阪医科薬科大学病院（072-683-1221 代表）までご連絡ください。その際には必ず「肺がん術後地域連携パス」を利用しているとお伝えください。

なお、原疾患（肺がん）と関連がないと考えられる症状については、他の医療機関への受診をお願いすることになりますのでご了承ください。



氏名 _____

ID番号 _____

退院後の日常生活

手術後まだ症状が残っている方もありますが、次第にその症状も回復してきます。

特に胸部の痛み（神経痛のような又は圧迫されるような痛み）は半年～1年位続くことがあります。しかし、人によっては程度の違いはありますが、通常軽快していきまますので安心してください。ご家庭に帰られてからは、次のことに注意して下さい。

1. 日常生活

規則正しい生活を心がけましょう。

2. 運動

（ ヶ月）より始めて下さい。最初に始める運動は散歩やウォーキングからにしましょう。

仕事への復帰やはげしい運動（テニス・ゴルフ・ジョギングなど）は医師との相談が必要です。

退院時に目安となるパンフレットをお渡しします。

それに加え外来時にその都度相談しましょう。

3. 作業

（ ヶ月）位より軽労作業に従事できるようになりますが、復職については医師と相談して下さい。

4. 睡眠

一日約6～8時間取るようにして下さい。

5. 禁煙

タバコは今後の経過に支障があります。このまま禁煙を続けて下さい。

6. 清潔

チューブが入っていたところの抜糸は退院後の外来になることがあります。退院前日に抜糸が終了していない方は医師もしくは看護師に退院後のシャワー浴とガーゼ交換について相談して下さい。

（絆創膏の交換だけで消毒が不要な場合もあります。）

絆創膏交換絆創膏交換の必要物品必要物品

防水の絆創膏・イソジン消毒薬・
滅菌綿棒

絆創膏交換絆創膏交換の方法

1. 防水絆創膏をはがし傷口の観察をしてください。
2. イソジン消毒液に滅菌綿棒をつけます。
3. 傷口の真ん中から外側に円を描くように消毒をします。
4. イソジン消毒液が乾燥してから新しい防水絆創膏を貼ります。
 - ・使用した滅菌綿棒をイソジン消毒液につけないようにしましょう。2度漬け禁止です！
 - ・傷口に赤み・腫れ・ほてり・膿が出るなどの症状があれば、外来で医師に相談して下さい。

傷口やチューブが入っていたところのかさぶたは自然にはがれるのを待ちましょう。

7. その他

- 1) 風邪を引かないように十分注意して、外出より帰宅時はうがいをしましょう。
 - 2) 高カロリー、高蛋白でバランスのよい食事をとりましょう。
 - 3) 衣服は深呼吸が十分できるように胸やお腹をしめつけないものにしましょう。
 - 4) 痛みのある方は傷を冷やさないようにして下さい。
- 入浴や温湿布は痛みに対して有効です。

術後補助療法について

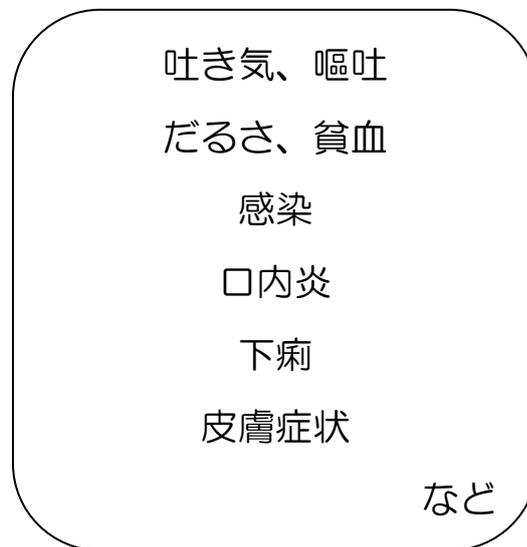
がんを手術で全部切除できたように見えても、その時点ですでに目に見えないがん細胞がほかの臓器に移動している可能性があり、時間がたってから再発として見つかることがあります。そこで、目に見えないがんを根絶することを目的として、抗がん剤の投与が行われることがあります。これを補助化学療法といいます。

腺がんでは効果もはっきりしていますが、腺がん以外の場合は有効性が低いといわれています。組織によっては適応にならないことがあります。



抗がん剤による副作用

抗がん剤はがん細胞のように、はやく増える細胞を攻撃しますが、正常な細胞にも薬の影響が出てしまうため、以下の症状が副作用として現れます。



次ページから、それぞれについて解説します。

抗がん剤による副作用 ①

～吐き気、嘔吐～

抗がん剤による吐き気・嘔吐は、胃や腸の粘膜や脳の嘔吐中枢に抗がん剤が影響し出現します。症状は人や抗がん剤により様々で、軽い吐き気を感じるだけの人もいますし、投与終了数時間後から 24 時間にわたり激しく嘔吐する人もいます。また、数日間、続くこともあります。

嘔気と食欲不振があるときは、消化の良い食事をしましょう。食事時間に関係なく食べたいときに食べやすいものを少量ずつ食べましょう。食事はゆっくり噛んで食べましょう。噛むことで消化を助けます。嘔気、嘔吐、食欲不振が強く、水分もとれない場合や、体重減少が著しい場合は、医師にご相談下さい。

～だるさ、貧血～

抗がん剤治療中にだるさが出てきます。原因は明確ではありませんが、抗がん剤に対する体の反応により余分なエネルギーを使用することなどが考えられています。

また、ほとんどの抗がん剤は血液を造るために重要な働きをする骨髄を障害する作用があります。したがって、抗がん剤治療を何回か繰り返すと、全身に酸素を運搬する赤血球が不足し、貧血状態になることがあります。

～感染～

抗がん剤治療による骨髄障害のため、白血球が減少します。白血球が減少すると細菌と闘う力が弱くなり、かぜ等をひきやすくなります。手洗いうがいの実施や、人混みにでるときにはマスクを着用し、感染予防に努めてください。38℃以上の発熱が2日以上続き、食事や水分がとれない時は医師にご相談下さい。

抗がん剤による副作用 ②

～口内炎～

化学療法の副作用で口内炎ができることがあります。また、化学療法中は細菌に対する抵抗力が弱くなっているため、口の中が感染し、重大な病気を引き起こすこともありますので、マウスケアを意識的に行ってください。リップクリームなどで口唇の乾燥を予防しましょう。

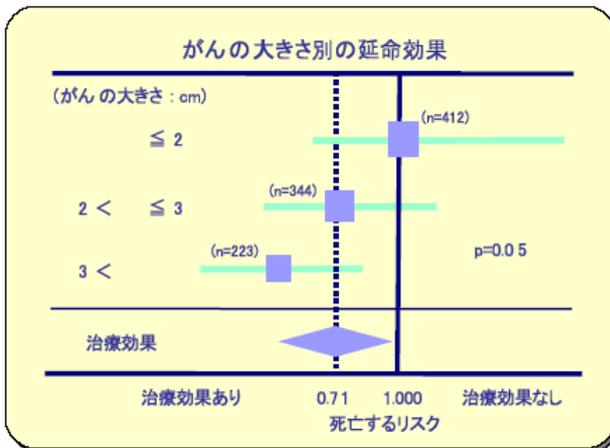
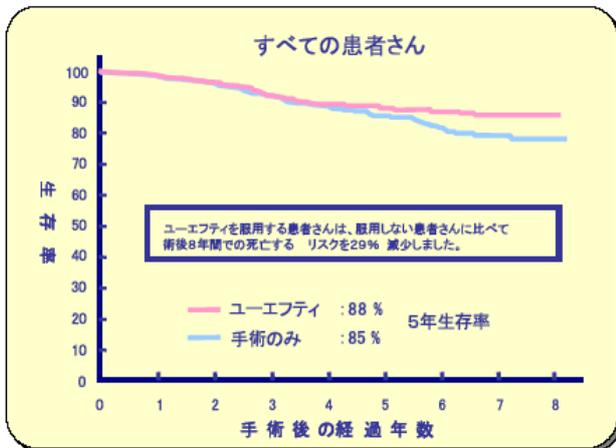
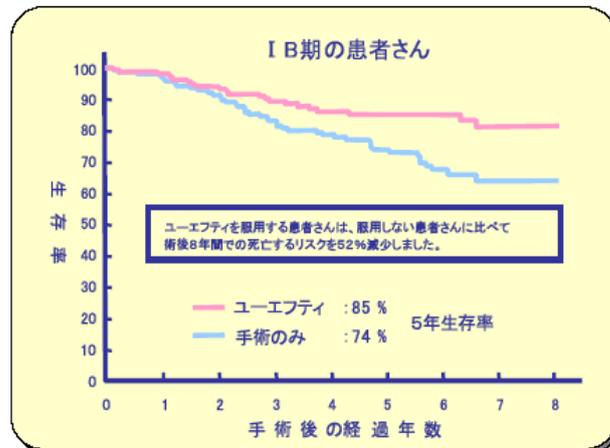
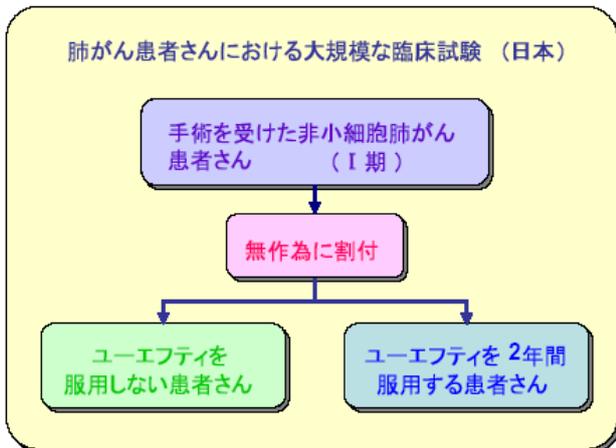
～下痢～

抗がん剤は腸の粘膜に影響を与えるため、下痢をおこすことがあります。1日に何度も下痢をする日が続く場合、あるいは差し込むような腹痛があるような場合には、医師の診察を受けて下さい。

～皮膚症状～

皮膚や爪が黒くなることがあります。日差しが差し込む場所をさけ、外出時には帽子や衣類で直射日光を避けるようにしましょう。皮膚の乾燥が強くなる場合があるので、保湿剤を使用しましょう。また、首筋や手、足、背中などの皮膚に発赤や発疹が出ることがあります。徐々に薄くなる人もいれば、自分で自分の頭髪をひっぱると大量の頭髪がとれるようになってショックをうける人もいます。皮膚刺激の少ない木綿の肌着を着用し、ウールセーターや化学繊維などが直接皮膚に接しないようにしましょう。発赤や発疹がひどくなれば医師にご相談下さい。

術後補助化学療法の薬剤について



Kato H. et al. N Engl J Med 2004;350:1713 -21.

日本では、非小細胞肺癌（I期）の患者さんが手術を受けた後に、ユーエフティを服用すべきかどうかを検討する臨床試験が行われました。この臨床試験は全国の医療施設で実施され、多くの肺癌患者さんにご参加いただきました。

臨床試験の内容は、手術を受けた患者さんを「ユーエフティを2年間服用する患者さん」と「服用しない患者さん」の2つのグループに分け、その後の生存率を調べるというものです。

その結果、「ユーエフティを2年間服用した患者さん」は、「服用しない患者さん」に比べて術後の8年間における生存率の向上が得られ、その間における死亡するリスクを29%減少しました。

なかでも I B 期の患者さんでは、より生存率の向上が得られ、死亡するリスクも52%減少しました。

また、がんの大きさ別での治療効果を検討したところ、「がんの大きさが2cm以上の患者さん」で死亡するリスクを大きく減少しました。

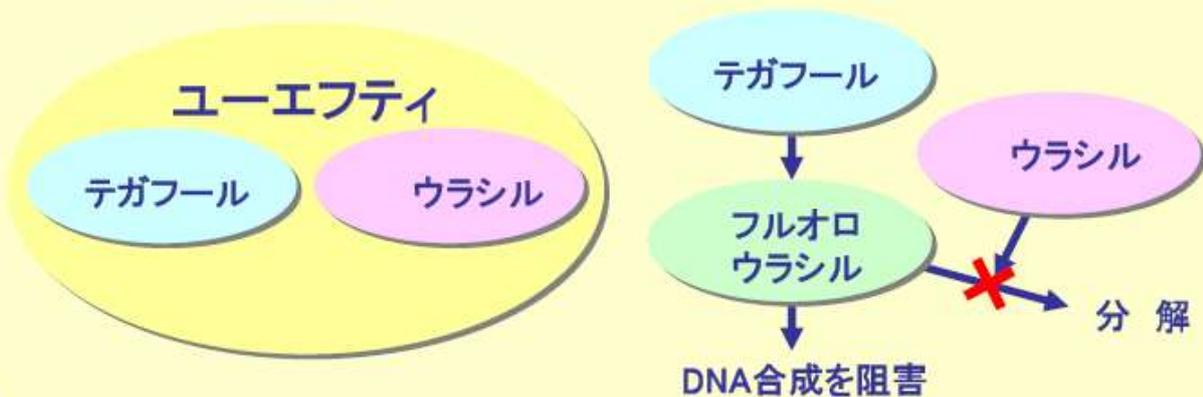
あなたに服用していただくお薬について

ユーエフティは、テガフルとウラシルという2つの成分が配合された、飲む抗がん剤です。

テガフルは、体内でがん細胞を攻撃するフルオロウラシルに変換されます。変換されたフルオロウラシルは、がん細胞に取り込まれ、DNA(遺伝情報)の合成を阻害するために、がん細胞は増えることができなくなり死滅します。

ウラシルは、フルオロウラシルの分解を抑える働きがあるため、体内においてフルオロウラシルが長く留まるようになります。

つまりユーエフティは、ウラシルによりフルオロウラシルのがん細胞を攻撃する力を強めたお薬ということになります。



ユーエフティ服薬の仕方

	お薬	1日量	朝	昼	夜
1	ユーエフティE顆粒	1日300mg	1包	1包	1包
2	ユーエフティE顆粒	1日400mg	2包	—	2包

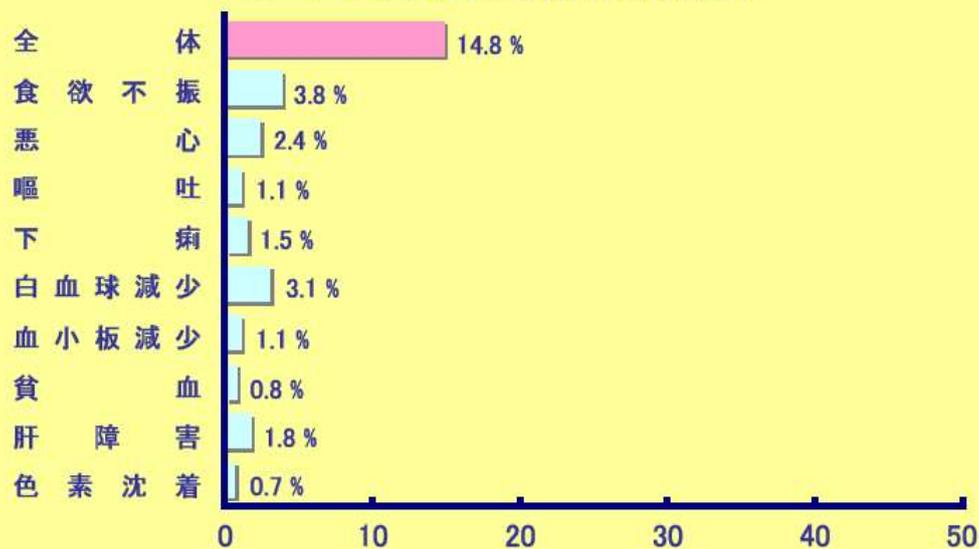
	お薬	1日量	朝	昼	夜
1	ユーエフティカプセル	1日300mg	1カプセル	1カプセル	1カプセル
2	ユーエフティカプセル	1日400mg	2カプセル	—	2カプセル

あなたに服用していただくお薬について

一般的に「抗がん剤は副作用が強い」と思われていますが、あなたに飲んでいただくユーエフティは、抗がん剤としては比較的副作用の少ないお薬です。

これまでの調査の結果、ユーエフティを飲んだ方のうち約15%の方に副作用が起きるといわれており、その主なものは食欲不振、悪心、白血球減少などです。

ユーエフティの主な副作用の発現率



以上のデータから、手術後の再発や転移を防ぐために、私は今後あなたにユーエフティを服用していただこうと思っています。

抗がん剤はがん細胞を攻撃しますが、正常な細胞にもダメージを与えることがあります。これが副作用と呼ばれているものであり、その程度は軽いものから重いものまで様々ですが、多くの方で避けて通れないものです。

食欲不振、悪心、嘔吐、下痢、色素沈着などが、あなたの自覚する症状です。このような症状が現れた場合、ただちに私に申し出て下さい。

この他に白血球・血小板・赤血球の減少や肝障害など、血液を調べてわかる副作用があります。これらを防ぐため、またできるだけ早期に発見し対処するために、ときどき血液を採って調べますのでご協力下さい。

あなたにこのお薬を服用していただく上で、あなたの健康には細心の注意を払っていくつもりです。なお、何か疑問な点がありましたら、ご遠慮なく申し出て下さい。

退院後もこれだけは忘れずに！

☆ 定期的な診察や検査に行きましょう

手術後 5 年を目途に、定期的な診察や検査を行います。診察や検査の間隔は、手術後の状態によって異なりますから、医師の指示通り、決められた日に診察や検査を受けるようにしてください。なお、定期検査は肺がんを対象としているものです。他の病気をカバーするものではありません。

☆ 毎月 1 回、自己検診を続けましょう

どんな病気でも早期に発見して、早期に治療することが大切です。毎月 1 回、日を決めて、ご自分で症状をチェックしてください。気になるところがあったら、医師に相談してください。

☆ 指示された薬は忘れずに服用しましょう

病院で処方された薬は、消化薬や化学療法剤で、手術後の状態を安定させるためや手術の治療効果を高めるために必要なものです。薬を服用するように医師から指示された場合には、指示された通りに忘れずに正しく服用してください。

副作用がある場合には、医師に申し出てください。

☆ 悩んでいるのはあなただけではありません

あなたが安心して治療や検査を続けていくためには、家族とともに医師や看護師とのコミュニケーションをよくし、一緒にこの病気と闘っていく気持ちが大切です。

まだまだ不安や悩みがあると思いますが、あなたと同じ 経験をされた患者さんはたくさんいらっしゃいます。そして、その多くの方が、病気を克服し、充実した人生を送っていることを忘れないでください。決して自分のからに閉じこもってしまわないように、明るく、希望を持って前進し、病気をしておかえて良かったと思われるような建設的な生活を送ってください。



あなたが受けた手術について

【あなたが手術を受けた日】

平成 年 月 日

【診断について】

- 1、非小細胞肺癌
- 2、組織型：
- 3、進行度（病理病期）： Stage I A（腫瘍径2cm以上）、
Stage I B でした。

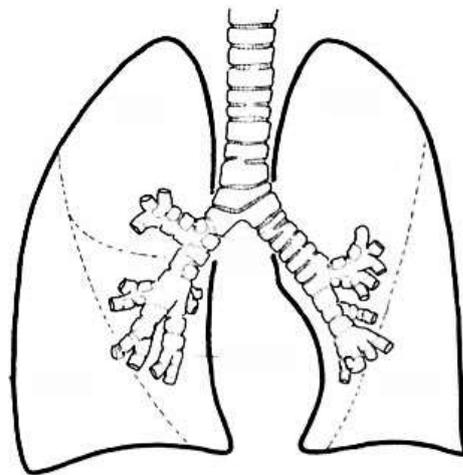
T：

N：

M：

【受けた手術】

- 肺部分切除術
- 肺区域切除術
- 肺葉切除術
- リンパ郭清術



※退院にあたって、薬剤師から服薬指導、服薬記録の説明を行います。よくお聞き頂いて、理解できない場合はお気軽にご質問ください。

- 治療スケジュール説明
- 患者様用パス説明
- 服薬指導

肺がん術後連携パス(1～6ヶ月)

○は必須項目

		← 1ヶ月目 →		← 2ヶ月目 →	
施設		大医薬大	大医薬大	大医薬大	かかりつけ医
診察・検査	受診日(目安)	/	/	/	/
	受診日(確定)	/	/	/	/
	診察	○	○	○	○
	血液検査(腫瘍マーカーを含む)	○	○	○	○
	画像検査	胸部X線			
休薬・減量・再開 日時(/)		休薬・減量・再開 (/)	休薬・減量・再開 (/)	休薬・減量・再開 (/)	休薬・減量・再開 (/)
補助化学療法薬 (ユーエフティ) 1日投与量		1日 mg 朝- mg 昼- mg 夜- mg			
チェック 処方		<input type="checkbox"/> 残薬チェック <input type="checkbox"/> 併用薬チェック <input type="checkbox"/> 一般薬チェック <input type="checkbox"/> ユーエフティ 2週間処方	<input type="checkbox"/> 残薬チェック <input type="checkbox"/> 併用薬チェック <input type="checkbox"/> 一般薬チェック <input type="checkbox"/> ユーエフティ 2週間処方	<input type="checkbox"/> 残薬チェック <input type="checkbox"/> 併用薬チェック <input type="checkbox"/> 一般薬チェック <input type="checkbox"/> ユーエフティ 2週間処方	<input type="checkbox"/> 残薬チェック <input type="checkbox"/> 併用薬チェック <input type="checkbox"/> 一般薬チェック <input type="checkbox"/> ユーエフティ 4週間処方
連携 連絡		退院後3ヶ月、 6ヶ月、それ以降、 6ヶ月毎病院に受診	再発、副作用発生等の場合、 大医薬大に連絡		再発、副作用発生 等の場合、大医薬 大に連絡
自己検診	嘔気・嘔吐・食欲不振				
	口内炎				
	全身倦怠感				
	下痢				
	色素沈着				
	発疹				
	体重				
	のどの痛み・発熱				
	その他				

内はあなたにご記入いただきます。
気になる自己診断項目を記録し、医師に相談しましょう

がん術後連携パス(7~12ヶ月)

○は必須項目

		← 7ヶ月 →	← 8ヶ月目 →	← 9ヶ月目 →
施設		かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医
診察・検査	受診日(目安)	/	/	/
	受診日(確定)	/	/	/
	診察	○	○	○
	血液検査(腫瘍マーカーを含む)	○	○	○
	画像検査			
休薬・減量・再開 日時(/)		休薬・減量・再開 (/)	休薬・減量・再開 (/)	休薬・減量・再開 (/)
補助化学療法薬 (ユーエフティ) 1日投与量		1日 mg 朝- mg 昼- mg 夜- mg	1日 mg 朝- mg 昼- mg 夜- mg	1日 mg 朝- mg 昼- mg 夜- mg
チェック 処方		<input type="checkbox"/> 残薬チェック <input type="checkbox"/> 併用薬チェック <input type="checkbox"/> 一般薬チェック <input type="checkbox"/> ユーエフティ 2週間処方	<input type="checkbox"/> 残薬チェック <input type="checkbox"/> 併用薬チェック <input type="checkbox"/> 一般薬チェック <input type="checkbox"/> ユーエフティ 2週間処方	<input type="checkbox"/> 残薬チェック <input type="checkbox"/> 併用薬チェック <input type="checkbox"/> 一般薬チェック <input type="checkbox"/> ユーエフティ 4週間処方
連携 連絡		 <p>※病院は6ヶ月毎に受診 再発、副作用発生等の場合、大医薬大に連絡</p>		
自己検診	嘔気・嘔吐・食欲不振			
	口内炎			
	全身倦怠感			
	下痢			
	色素沈着			
	発疹			
	体重			
	のどの痛み・発熱			
	その他			

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

肺がん術後連携パス(1年～1年6月)

		← 13ヶ月目 →	← 14ヶ月 →	← 15ヶ月目 →
施設		かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医
診察・検査	受診日(目安)	/	/	/
	受診日(確定)	/	/	/
	診察	○	○	○
	血液検査(腫瘍マーカーを含む)	○	○	○
	画像検査			
休薬・減量・再開 日時(/)		休薬・減量・再開 (/)	休薬・減量・再開 (/)	休薬・減量・再開 (/)
補助化学療法薬 (ユーエフティ) 1日投与量		1日 _____ mg 朝- _____ mg 昼- _____ mg 夜- _____ mg	1日 _____ mg 朝- _____ mg 昼- _____ mg 夜- _____ mg	1日 _____ mg 朝- _____ mg 昼- _____ mg 夜- _____ mg
チェック 処方		<input type="checkbox"/> 残薬チェック <input type="checkbox"/> 併用薬チェック <input type="checkbox"/> 一般薬チェック <input type="checkbox"/> ユーエフティ 2週間処方	<input type="checkbox"/> 残薬チェック <input type="checkbox"/> 併用薬チェック <input type="checkbox"/> 一般薬チェック <input type="checkbox"/> ユーエフティ 2週間処方	<input type="checkbox"/> 残薬チェック <input type="checkbox"/> 併用薬チェック <input type="checkbox"/> 一般薬チェック <input type="checkbox"/> ユーエフティ 4週間処方
連携 連絡		 ※病院は6ヶ月毎に受診 再発、副作用発生等の場合、大医薬大に連絡		
自己検診	嘔気・嘔吐・食欲不振			
	口内炎			
	全身倦怠感			
	下痢			
	色素沈着			
	発疹			
	体重			
	のどの痛み・発熱			
その他				

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

肺がん術後連携パス(1年7ヶ月～2年)

		←19ヶ月目→	←20ヶ月目→	←21ヶ月目→
施設		かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医
診察・検査	受診日(目安)	/	/	/
	受診日(確定)	/	/	/
	診察	○	○	○
	血液検査(腫瘍マーカーを含む)	○	○	○
	画像検査			
休薬・減量・再開 日時(/)		休薬・減量・再開 (/)	休薬・減量・再開 (/)	休薬・減量・再開 (/)
補助化学療法薬 (ユーエフティ) 1日投与量		1日 mg 朝- mg 昼- mg 夜- mg	1日 mg 朝- mg 昼- mg 夜- mg	1日 mg 朝- mg 昼- mg 夜- mg
チェック 処方		<input type="checkbox"/> 残薬チェック <input type="checkbox"/> 併用薬チェック <input type="checkbox"/> 一般薬チェック <input type="checkbox"/> ユーエフティ 2週間処方	<input type="checkbox"/> 残薬チェック <input type="checkbox"/> 併用薬チェック <input type="checkbox"/> 一般薬チェック <input type="checkbox"/> ユーエフティ 4週間処方	<input type="checkbox"/> 残薬チェック <input type="checkbox"/> 併用薬チェック <input type="checkbox"/> 一般薬チェック <input type="checkbox"/> ユーエフティ 4週間処方
連携 連絡		 ※病院は6ヶ月毎に受診 再発、副作用発生等の場合、大医薬大に連絡		
自己検診	嘔気・嘔吐・食欲不振			
	口内炎			
	全身倦怠感			
	下痢			
	色素沈着			
	発疹			
	体重			
	のどの痛み・発熱			
その他				

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

肺がん術後連携パス(2年～2年6ヶ月)

○は必須項目 △は必要時に行います

		大医薬大		～メモ～ ★ 定期受診は5年目まで ★ 定期受診日以外でも 必要があれば受診
		2年6ヶ月		
		月	日	
診察	呼吸状態	○		
	胸部所見	○		
採血	血算・生化学	○		
	CEA・CYFRA	○		
		○		
検査	胸部レントゲン検査	○		
	胸部CT検査			
	頭部CT検査又はMRI検査			
投薬	一般薬			
自己検診	息苦しさの チェック	胸の痛み		
		せき		
		たん		
		呼吸困難		
	それ以外の チェック	体重		
		発熱		
その他				

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

肺がん術後連携パス(2年7ヶ月～3年)

○は必須項目 △は必要時に行います

		大医薬大	～メモ～ ★ 定期受診は5年目まで ★ 定期受診日以外でも必要があれば受診
		3年	
		月 日	
診察	呼吸状態		○
	胸部所見		○
採血	血算・生化学		○
	CEA・CYFRA		○
検査	胸部レントゲン検査		○
	胸部CT検査		○
	頭部CT検査又はMRI検査		
投薬	一般薬		
自己検診	息苦しさのチェック	胸の痛み	
		せき	
		たん	
		呼吸困難	
	それ以外のチェック	体重	
		発熱	
その他			

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

肺がん術後連携パス(2年～2年6ヶ月)

○は必須項目 △は必要時に行います

		大医薬大		～メモ～ ★ 定期受診は5年目まで ★ 定期受診日以外でも必要があれば受診
		2年6ヶ月		
		月	日	
診察	呼吸状態		○	
	胸部所見		○	
採血	血算・生化学		○	
	CEA・CYFRA		○	
検査	胸部レントゲン検査		○	
	胸部 CT 検査			
	頭部 CT 検査又は MRI 検査			
投薬	一般薬			
自己検診	息苦しさのチェック	胸の痛み		
		せき		
		たん		
		呼吸困難		
	それ以外のチェック	体重		
		発熱		
その他				

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

肺がん術後連携パス(2年7ヶ月～3年)

○は必須項目 △は必要時に行います

		大医薬大	～メモ～ ★ 定期受診は5年目まで ★ 定期受診日以外でも必要があれば受診
		3年	
		月 日	
診察	呼吸状態		○
	胸部所見		○
採血	血算・生化学		○
	CEA・CYFRA		○
検査	胸部レントゲン検査		○
	胸部CT検査		○
	頭部CT検査又はMRI検査		
投薬	一般薬		
自己検診	息苦しさのチェック	胸の痛み	
		せき	
		たん	
		呼吸困難	
	それ以外のチェック	体重	
		発熱	
その他			

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

肺がん術後連携パス(3年～3年6ヶ月)

○は必須項目 △は必要時に行います

		大医薬大	～メモ～ ★ 定期受診は5年目まで ★ 定期受診日以外でも必要があれば受診
		3年6ヶ月	
		月 日	
診察	呼吸状態		○
	胸部所見		○
採血	血算・生化学		○
	CEA・CYFRA		○
検査	胸部レントゲン検査		○
	胸部CT検査		
	頭部CT検査又はMRI検査		
投薬	一般薬		
自己検診	息苦しさのチェック	胸の痛み	
		せき	
		たん	
		呼吸困難	
	それ以外のチェック	体重	
		発熱	
その他			

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

肺がん術後連携パス(3年7ヶ月～4年)

○は必須項目 △は必要時に行います

		大医薬大	～メモ～ ★ 定期受診は5年目まで ★ 定期受診日以外でも必要があれば受診
		4年	
		月 日	
診察	呼吸状態	○	
	胸部所見	○	
採血	血算・生化学	○	
	CEA・CYFRA	○	
検査	胸部レントゲン検査	○	
	胸部CT検査	○	
	頭部CT検査又はMRI検査		
投薬	一般薬		
自己検診	息苦しさのチェック	胸の痛み	
		せき	
		たん	
		呼吸困難	
	それ以外のチェック	体重	
		発熱	
その他			

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

肺がん術後連携パス(4年～4年6ヶ月)

○は必須項目 △は必要時に行います

		大医薬大	～メモ～ ★ 定期受診は5年目まで ★ 定期受診日以外でも必要があれば受診
		4年6ヶ月	
		月 日	
診察	呼吸状態		○
	胸部所見		○
採血	血算・生化学		○
	CEA・CYFRA		○
検査	胸部レントゲン検査		○
	胸部CT検査		
	頭部CT検査又はMRI検査		
投薬	一般薬		
自己検診	息苦しさのチェック	胸の痛み	
		せき	
		たん	
		呼吸困難	
	それ以外のチェック	体重	
		発熱	
その他			

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

肺がん術後連携パス(4年7ヶ月～5年)

○は必須項目 △は必要時に行います

		大医薬大	～メモ～ ★ 定期受診は5年目まで ★ 定期受診日以外でも必要があれば受診
		5年	
		月 日	
診察	呼吸状態	○	
	胸部所見	○	
採血	血算・生化学	○	
	CEA・CYFRA	○	
		○	
検査	胸部レントゲン検査	○	
	胸部CT検査	○	
	頭部CT検査又はMRI検査		
投薬	一般薬		
自己検診	息苦しさのチェック	胸の痛み	
		せき	
		たん	
		呼吸困難	
	それ以外のチェック	体重	
		発熱	
その他			

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

大阪医科薬科大学病院の部署のご案内



再診予約変更

消化器外科外来に電話してください。
午後3～4時の間に予約の取り消しや変更を承ります。
なお、検査によっては予約の変更はできませんので、
その場合は、直接来院のうえ、ご変更ください。

電話番号：072-683-1221（代）（内線2341）

がん相談支援室

患者さんが病院に対する安心感と信頼感を持って療養に専念していただけるようにがん相談支援室にてがんに関する相談をお受けしております。

当院に入院・通院されている患者さん・家族の方が安心して温かな医療・看護が受けられるよう、医師または看護師など院内のスタッフとの連携はもとより、地域の医療・保健・福祉などの各機関と協働・連携をとりながら、より満足度の高い療養生活と充実した日々を送っていただけるように支援を行っています。

相談時間

月曜日～金曜日 9:00～16:00

第1・3・5土曜日 9:00～12:00

（但し当院の休診日はお受けしておりません。）

予約方法

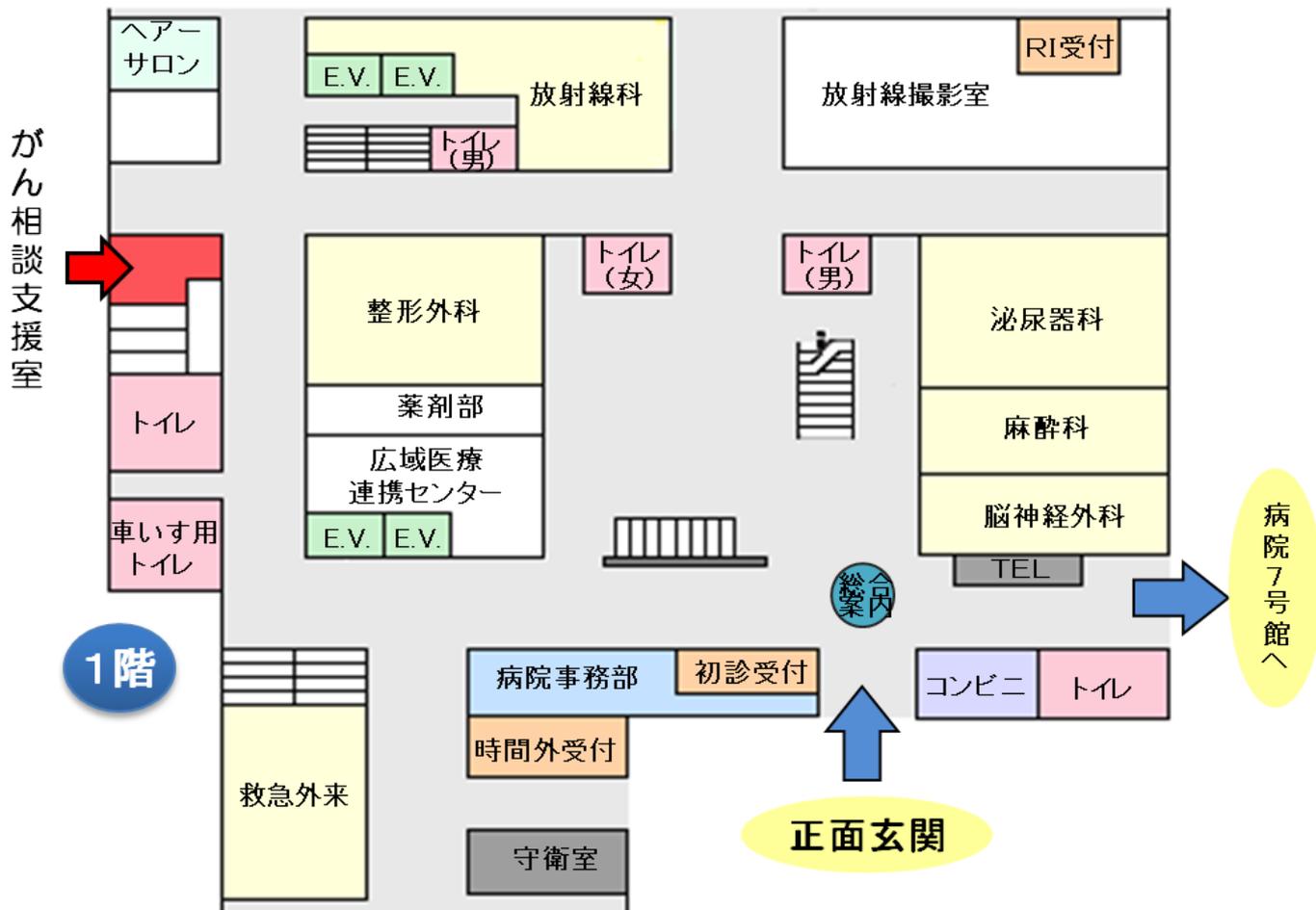
電話またはFAXにてお申し込みください。

電話：072-683-1221（代表） 内線2095

FAX：072-684-6221

※予約優先としますが、予約がない場合でも時間に空きがあればお受けしております。





名前 _____

ID番号 _____



大阪医科薬科大学病院

(消化器外科)

TEL 072-683-1221 (代) (内線2341)

24年 5月作成
25年 9月改定